

第93回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年9月21日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第93回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○郡政府現地災害対策本部長

・現在、三次補正の議論の真っ只中である。遅いという声もあるが、10月には成立させて、執行できるよう頑張っていきたい。

○若生災害対策副本部長

- ・農地復旧のロードマップができた。13,000haの対象農地のうち、今年度は5,250ha（春施工分を含む）を施行する。
- ・別紙、記者発表資料を参照するように。

○小野寺危機管理監

- ・台風15号が今夜にかけて、非常に激しい雨が降る。速度が上がっているので、急激な天気の変化に注意されたい。
- ・死者9,415人、行方不明者2,141人、全壊75,376棟、避難所97箇所、避難者2,122人である。
- ・被害額は、住宅関連が増え、7兆2,092億円である。
- ・台風15号の被害状況は調査中であり、在来線は運休中、学校関係休校、土砂崩れ等発生している模様である。

○仙台管区气象台

- ・台風15号は9時現在潮岬の約60km沖であり、予想雨量は総雨量で200ミリ、1時間あたり50ミリである。風は警報クラスである。
- ・波、うねりが7mであり、明日いっぱい潮位120cmくらいになるため、警戒が必要である。
- ・雄勝は既に200ミリ降っている。

○伊藤震災復興・企画部長

・離島航路は、塩竈で1日5往復運行し、女川は9月17日から土曜も追加するが、現在は台風で運転を見合わせている。

○小泉環境生活部長

・放射能物質検査で、大きな変動はない。安定している。

○岡部保健福祉部長

- ・医療関係被害が23億円増加した。
- ・震災孤児は1名増加（女川2，名取－1）し，712人になった。
- ・育英募金は総額11億4千万円超である。
- ・ボランティアは平均1,000～1,500人である。

○千葉農林水産部長

・放射能関係としては、牧草関係で乳用牛と肥育牛への給与を自粛しており、逐次解除をしていたが、残っていた栗原市の一部も規制値を下回ったため、9月16日ですべて自粛要請を解除した。

・稲わらについては、引き続き牛への給与の自粛を要請中である。

○橋本土木部長

- ・住宅関係で2億円ほど増加した。
- ・9月8日に、港湾使用料を減免した。
- ・仮設住宅の完成率は98%であり，残り225戸である。

○竹内警察本部長

・昨日，警察葬を実施した。知事の出席にも感謝申し上げる。

・遺体収容は9,467体であり，前回より20体増加した。海からは15体である。引渡9,461体であり，引渡率は99%となった。遺族に7,768体，市町村に1,699体である。

・震災後6ヶ月の犯罪，いずれも減っている。

・暴力団対策に力を入れていく。警察の配備の見通し，3,900人体制から1,500人体制になる。600人は他県からの応援である。

○教育委員会

・教職員1名が死亡判明された。

・避難所は35校である。

・台風で休校，午前授業が増えている。公立小中77校，公立高校40校，特別支援学校2校が休校である。

○伊藤企業局長

・工業水の放射能物質は不検出である。南部山浄水場，麓山浄水場の浄水発生土については場内保管している。

○若生災害対策副本部長

・台風15号が接近してきている。復旧の現場と連絡を密に万全の対応を行うこと。

・次回は10月20日10時00分に開催する。